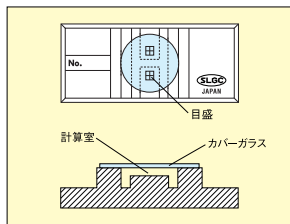


構 造

SLGC血球計算盤はガラス盤とカバーガラスから出来ており、ガラス盤中央の一段低くなった底面には目盛が刻まれています。

右図のようにカバーガラスをセットすると、その下面と目盛面の間に一定の空間、計算室が出来ます。この計算室内の細胞をカウントすることにより、一定容積あたりの細胞数を算定する事が出来ます。

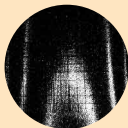
また、細胞の運動量や大きさの測定などにも使用できます。



(1) 優良な計算盤の断面図



● 目盛面の干渉顕微鏡写真
[合格]



(2) 不良な計算盤の断面図



● 目盛面の干渉顕微鏡写真
[不合格]



注) 干渉縞(ニュートリング)の本数が少ないほど、平面度(平坦度)が良い事を表す。

計算盤の精度は、計算室の深さや目盛の正確さ、目盛面の平面度、カバーガラスの平面度とセットの仕方、材質自体の膨張・収縮や外部の力によるソリなどの要因で決定されます。

SLGC血球計算盤は最高級の光学技術により $1\mu\text{m}$ 単位の精度で製造し、厳密な検査に合格した製品です。使用時における精度の劣化を防ぐため、膨張係数が小さい、ソリにくい、経年劣化がほとんどない、などの特性を持つガラス材料を使用しております。

規 格

SLGC血球計算盤は二種類の検定品があります。

(財)日本血液検査器械検定協会検定合格品 JHS
上記検査機関による検定合格品です。検定証が付いています。
社内検定合格品 JIS
別紙記載の検定規格に合格した製品です。検定証は付いていません。

血球計算盤規格表

器名	細目	絶対値(mm)	(許容)器差	摘要
トーマ	目盛面積の中央部の深さ	0.100	±3%	目盛面とカバーガラス下面の深さ
	目盛面積の相対的平面度	0	±0.0002	目盛面積の傾斜度合
	画線	1.000×1.000	±0.5%	(1mm ²)の正方形の長さ
ビルケルチュルク 改良ノイバウエル	目盛面積の中央部の深さ	0.100	±3%	目盛面とカバーガラス下面の深さ
	目盛面積の相対的平面度	0	±0.0002	目盛面積の傾斜度合
	画線	3.000×3.000	±0.5%	中心より(3mm ²)の正方形の長さ
フックスローゼンタール	目盛面積の中央部の深さ	0.200	±3%	目盛面とカバーガラス下面の深さ
	目盛面積の相対的平面度	0	±0.0004	目盛面積の傾斜度合
	画線	4.000×4.000	±1%	(4mm ²)の正方形の長さ
エोजノフィルカウンター (タイ)	目盛面積の中央部の深さ	0.200	±3%	目盛面とカバーガラス下面の深さ
	目盛面積の相対的平面度	0	±0.0005	目盛面積の傾斜度合
	画線	2.500×5.000	±1%	(2.5×5mm)の長さ
バクテリアカウンター	目盛面積の中央部の深さ	0.020	±2 μ m	目盛面とカバーガラス下面の深さ
	目盛面積の相対的平面度	0	±0.0002	目盛面積の傾斜度合
	画線	3.000×3.000	±0.5%	中心より(3mm ²)の正方形の長さ
ナジェットチャンバー	目盛面積の中央部の深さ	0.500	±3%	目盛面とカバーガラス下面の深さ
	目盛面積の相対的平面度	0	0.001	目盛面積の傾斜度合
	画線	10.000×10.000	±1%	(10mm ²)の正方形の長さ
暗視野カウンター	目盛面積の中央部の深さ	0.010	±1 μ m	目盛面とカバーガラス下面の深さ
	目盛面積の相対的平面度	0	0.0002	目盛面積の傾斜度合
	画線	1.000×1.000	±0.5%	(1mm ²)の正方形の長さ
JHS	日本血液検査器械検定協会検定合格品 (検定証付)			
JIS	社内検定合格品 (検定証は付いていません)			